

出荷規格の確認で部会員の意識統一 信頼される産地へ

スナップエンドウ(目ならし会、栽培講習会、現地検討会 R7.11.7)

出荷は11月5日から始まり、徐々に出荷量を増やし、5月中旬まで続き、熊本、名古屋方面に出荷します。秀品率がよく、甘味がありおいしいと市場でも好評です。早田雅信部会長は「早めの防除対策を万全にして出荷量を伸ばしていきたい」と意気込んでいます。部会員戸数16戸、栽培面積124a。10a当り2.5トン取りを目標に、管理作業、収穫作業に力を入れます。温度、水分管理の徹底で3～4月の出荷最盛期に備えます。(担当:橋口)



出荷規格を確認



現地検討会

冬ゴボウ(目ならし会 R7.12.1)

出荷は12月1日から始まり、3月中旬まで関東、中京、関西、九州一円に届けます。冬ゴボウ出荷者は72戸で、栽培面積は86ha。上野洋一部会長は「生育は順調で品質良好。収量も期待できそうだ。部会員一丸となって収穫・出荷に頑張りたい」と力が入ります。「菊池水田ごぼう」は冬ゴボウ・春ゴボウ共に大変人気で、市場からの引き合いも増えています。生産者と市場をつないで情報を共有し、多くの人に手に取ってもらえるよう努力していきます。(担当:石原)



市場情勢を聞く部会員



市場取引会議

おいしいゴボウをお届けします！



ゴボウ部会役員

カンショ(目ならし会 R7.12.4)

11月に収穫作業が終わり、選別の徹底と計画的な出荷で総出荷量は1500tを見込んでいます。1～2月の最盛期には日量約10tを出荷予定。中国・近畿地方、福岡、県内へ来年6月まで出荷します。市場販売だけでなく、輸出や直売所での販売も行います。部会員は29戸で、栽培面積は62ha。大田黒裕樹部会長は「品質良好で、収量もある。貯蔵したイモは、より甘味が増して美味しくなる。しっかりいいものを出していきたい」と力を込めます。消費地での評判も良く、市場からの要望も多くなっています。情報交換を密にしながら高品質な部会カンショを売り込んでいきます。(担当:西)



規格を確認



©よい食P

白ネギ(目ならし会 R7.12.5)



©よい食P

11月下旬から出荷が始まり、1～2月に出荷最盛期を迎えます。品質良好で、甘みがあり、やわらかい白ネギに仕上がっています。ネギステーキ、ねぎま、鍋の具材などいろいろな料理にお試ください。また、風邪予防、冷え対策、生活習慣病予防にもおすすめです。目ならし会では、4月から新規就農を目指す若者の見学もありました。(担当:吉良)



目ならし会